

# 新年 賀 謹

## 明

けましておめでとうござい  
ます。

市民の皆様方におかれま  
しては、令和7年の新春をお健やか  
にお迎えになられたことを心からお  
喜び申し上げますとともに、平素よ  
り市政執行に対し深いご理解と温か  
いご支援をお寄せ頂いておりますこ  
とに改めて厚く御礼を申し上げます。  
さて本年は平戸市にとりまして大  
きな節目を迎えます。

まず、本年が平成17年の合併から  
20年を迎える記念すべき年になるこ  
とです。

合併当初は財政危機宣言を発する  
状況にありましたが、大胆な行財政  
改革をはじめ市役所機構改革などに  
取り組み、思い切った繰上償還など  
によって本市の財政は健全性を確保  
することができています。

また少子高齢化と人口減少社会に  
対応するため「真に支え合うまちづ  
くり」の土台となる自治運営組織が、  
市内14か所において「まち協」の愛称  
で設立することができました。

すでに各協議会において、個性あ  
ふれる魅力的なイベントや地域おこ  
し事業に積極的に取り組んでこれら

確実に自治体内分権が進んでいる手  
応えを感じております。各地区で年  
末から実施されたイルミネーション  
事業をはじめ、「平戸ナイトミュージ  
アム」や世界遺産集落で実施された  
「春日の祈り」、川内集落での「鄭成  
功ランタンナイト」に加え、平戸北  
部商店街の「ほのあかり事業」や田平  
公園における「光のフェスタ202  
4」などとの相乗効果が発揮され、  
まさに市内全体が皆様の手によって  
心の温もりとともにキラキラと輝く  
故郷を象徴しているように思えます。  
これに加え、令和7年度中には待  
望の西九州自動車道「平戸インター」  
の完成により松浦市と直結すること  
で、福岡までの移動時間が劇的に短  
縮されます。このことはこれまで以  
上に人流や物流の移動の加速化や利  
便性の向上に加え、沿線地域への企  
業の進出意欲を高めることにもなり、  
交流人口や関係人口を増大させる起  
爆剤としても大いに期待が寄せられ  
ることになるでしょう。

また観光地域づくり法人「平戸D  
MO」が民間企業と連携して主体的  
に進めてきた「アルベルゴ・ディフー  
ゾタウン事業」の具体的展開が始ま

る年でもあります。本市がこれまで  
進めてきた街並み修景事業や景観条  
例による統一感の醸成、電線地中化  
事業や空き家バンク事業などがその  
土台となつて、イタリア発祥の旅行  
スタイルの「アルベルゴ・ディフーズ  
(分散型ホテル)」が日本初のタウン  
認証を背景に、本年5月から事業開  
始となる予定です。さらに平戸藩の  
財政を支え、当時では西日本最大の  
益富捕鯨が創業300周年の節目を  
迎えるなど、平戸市が保有する歴史  
的な価値や伝統的な文化景観、雄大  
な自然は、その潜在価値をいよいよ  
大きく増幅させ、多くの人たちを魅  
了することになると確信しています。  
平戸市の基幹産業である農林水産業  
と観光業、これらを今まで以上に希  
望溢れる産業として持続的な土台を  
構築し、地域の経済活性化に向けと  
もに力を注いでまいりましょう。

そして今年には市長としての任期4  
期目の節目を迎えます。私自身、最  
終コーナーを全力で駆け抜け、市議  
会議員各位とともに皆様の負託にお  
応えすべく尽力してまいる所存です。  
市民の皆様におかれましては、市政  
に対しましての尚一層のご理解とご

## 任期4年の最終コーナーを

### 全力で駆け抜けてまいります！

協力をお願い申し上げます。  
結びに、この1年が皆様にとりま  
して、限りなくお幸せで明るい飛躍  
の年になりますことをお祈り申し上  
げ、年頭のごあいさついたします。

令和7年元旦

平戸市長 黒田 成彦



黒田市長成彦先生雅鑒  
温故知  
台日文化経済協会  
黒田成彦敬書



平戸市教育長 入口 政信

**明** けましておめでとうございませう。ようやく新型コロナウイルス感染症の話も少なくなくなり、コロナ禍以前の生活に戻った感があります。しかし、代わりにそれまで裏に隠れていた他の感染症の流行が報告されており、市民の皆様も対策されていることと存じます。

皆様には日ごろより、平戸市の教育の充実についてご協力いただき、感謝を申し上げます。

学校ではGIGAスクール構想事業に基づき、ICT機器を活用した学習の実践に取り組んでいます。昨年、山田小学校では「自尊感情を育む教育活動の在り方」を主題とし、ICT機器を活用した児童の主体的・協働的な学びの姿を目指し、市指定の研究発表が行われました。

また、教育支援体制の充実のために、校内教育支援教室「ひかり」が新設されました。これは、登校に難

いさつを申し上げます。

平戸市議会を代表して一言新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、心新たに希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから、本市の市政運営ならびに議会活動に対し、温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新年早々、能登半島地震で多くの方々などの被害もあり、改めて望の西九州自動車道の松浦

いつどこで大規模災害が起こるか分からない状況にあると実感したところであります。

本市においても、11月の記録的な豪雨の際、高越地区の山間部におけるがけ崩れにより、県道などが土砂に流され通行止めとなっており、復旧までには相当の期間を要すると聞き及んでおります。改めて被災された方々にお見舞い申し上げます。

また、昨年は30年ぶりの郵便料金値上げや、20年ぶりの新紙幣発行など変化の年でもありました。

そうした中で、皆様も待望の西九州自動車道の松浦

しさを感じるようになっていいる児童・生徒のための教室で、田平中学校内に設置されています。この教室が児童・生徒の登校を助けるものとなることを期待しているところです。

また、第3期平戸市教育振興基本計画が令和6年度で終期を迎えることから、令和7年度を始期とする今後5年間の第4期平戸市教育振興基本計画の策定を行っています。

生涯学習につきましては、念願であった南部市民屋内運動場の建設工事に取りかかることができました。完成は令和7年末を予定しています。併せて、市民がいつでもどこでも学ぶことができる環境づくりを目指し、市民大学や各公民館での出前講座などに取り組んでいますので、どうぞご活用ください。

結びに、市民の皆様をますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



平戸市議会議長 松本 正治

平戸インター間が令和7年度中に完成予定となっており、これまでの要望活動の成果が目に見えて現れてきております。この間、ご理解、ご協力をいただいた関係者の皆様のご尽力に改めて感謝を申し上げますとともに、全線開通に向け引き続き積極的に要望活動を行ってまいります。



▲西九州自動車道松浦1号トンネル貫通式

今年、ながさきピース文化祭2025(第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭)が9月14日から11月30日まで開催されます。また、南安市・平戸市友好都市締結30周年記念を迎える年でもあります。

長崎県はもちろん、本市

は、古くから日本の海外交流の窓口であり、先進の文化と技術の中継地として大きな役割を果たすとともに、西洋と東洋が融合した独自の文化を育んできました。今年、こうした記念すべき年を迎え、本市においても平戸ならではの歴史や文化を生かした地域文化発信事業が各地で開催される予定となっております。

また、基幹産業である農林水産業においては、近年の物価や資材価格の高騰、気候変動などの影響により、たいへん厳しい状況に置かれております。議会といたしましては、畜産業振興の具体的な取り組みの議論を重ね、また、持続可能な水産業の確立に向けた陸上養殖の実証試験など、農林水産業の活性化に向け取り組んでいるところであり、さまざまな分野で市民の皆様とともに、平戸の産業を盛り上げてまいりたいと存じます。

今年、平戸市制施行20周年の節目の年を迎えます。人口減少や公共施設の老朽

化が進む中、将来を見据えた行政運営が必要となっており、民間および公立病院の経営も含めた本市における医療提供体制のあり方や市民の安全・安心を守るための消防体制のあり方などの議論がなされているところであります。

私たち議会としましては、さまざまな課題の解決に向け、市民の皆様が目線に立ち、寄り添いながら、負担に比べられる市議会となるよう努めてまいります。

また、議会の果たすべき役割を議員一人ひとりが重く認識し、自己研鑽に努めながら、平戸市発展に寄与してまいれる所存でありますので、市民の皆様の変わりぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が笑顔あふれ、活気みなぎる年となりますことをご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



長崎県議会議員 大久保 堅太

**明** けましておめでとうございませう。今年1年が明るい良い年になりますようお祈りいたします。

新たな年を迎え、県議会議員として、これまで以上に皆様に身近な存在と実感していただけるよう、さまざまな取り組みを積極的に進めてまいり決意であります。

昨年、元旦の能登半島地震により大変辛いスタートとなり、改めて日常が当たり前ではないことが胸に刻まれた大きな教訓でした。平戸市においては、鄭成功生誕400周年などさまざまな催しが実施され、市内外・国内外の人々との交流ができ、地域の賑わいを改めて実感したところでした。これもひとえに市民の皆様のご協力とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今年、長崎県において、ながさきピース文化祭2025が県内全域を

ステージに盛大に開催されます。これまで積み重ねられた文化や伝統を通して芸術を通して長崎県や平戸市の魅力が多くの方々に伝わることを大いに期待しています。

そして本年は、昭和100年、戦後80年という記念すべき節目の年にあたります。また、新平戸市合併20周年にも感慨を持って感謝したいと思います。また、今年の干支は乙巳で、新しい挑戦や変化に柔軟に対応して発展していくという意味があるそうです。時代の流れを感じつつ、今後の発展のための大きな節目となる1年にしていきたいと思っております。

本年も、多くの方々のご意見をお聴きし、さまざまな課題の解決に向け、市民の皆様への奉仕に誠心誠意努めてまいれる所存でございます。

結びに、皆様にとりまして明るく、実り多き年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。